2025度　事業報告　　施設名 幼保連携型認定こども園　同朋わくわく園

事業年度	定員(人)			児童数(延人数)			充足率(%)		延長保育利用人数（延人数）								一時保育	園庭開放他
									30分延長	1/1.5時間延長		2時間延長		日割り			(延人数)	(延人数)
2024年度　事業報告	96 人	1号	6 人	1112 人	1号	91 人	1号	126 %	133 人	1	人		人	561	人		4 人	295 人
		2,3号	90 人		2,3号	1021 人	2,3号	95 %										
2025年度　事業報告	99 人	1号	9 人	1108 人	1号	136 人	1号	126 %	431 人	6	人		人	594	人		0 人	273 人
		2,3号	90 人		2,3号	972 人	2,3号	90 %										
ヒヤリハット　A(危険度重)B(危険度中)C(危険度軽)				事故報告　(受診を要した件数)					要望・意見・苦情　報告									
A：13 件　B：38件　C：21件				13件					要望：　1件　意見：　2件　苦情：　1件									

方針 基本法	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重	≪教育・保育理念≫ ・人は大切　子は宝 　人間尊重と子ども第一主義 ≪教育・方針≫ ・豊かな人間性を育む ≪教育方針≫ ・心も身体も健康な子どもに	・自然との関わり、生命尊、季節の野菜、花の栽培、SDGs ・一人ひとりを大切にした保育 ・主体性を尊重し、個々の気持ちを受け止める ・虐待防止と早期発見 ・権利擁護の実践と研修 ・虐待権利侵害の根絶への取り組み	・季節の野菜・花の栽培 ・権利擁護の園内研修（年1回） ・虐待防止のチックリスト（年3回）	・プランター等を利用し、野菜や花の栽培を行うことで、作物の生長をより身近に感じることができた。 ・権利擁護の園内研修やチェックリストを活用し、日々の関わりについて振り返りを行った。	・自然物に触れる機会を多く持ち、自然物を使用した製作に取り組んでいた。草花を使った染めあそびでは、様々な染まり方を職員と子どもと一緒に楽しむことができたので、今後も続けていきたい。 ・日々の保育の振り返りを行い、互いに気づきを職員同士で共有し、互いに声掛けしやすい関係を気づいていきたい。
サービスの質の向上	・保育内容、質の向上 ・職員の質の向上 ・保護者との連携	・各種マニュアル・ヒヤリマップ作成と定期的な見直し ・園内研修の充実 ・行事や懇談会を通して子どもの育ちを保護者と共有 ・保育の見える化 ・保護者アンケート	・各種マニュアルの作成・見直し ・ヒヤリマップの作成・見直し ・キャリアアップ研修（対象者） ・保育参加（年2回） ・クラス懇談会（年2回） ・保護者アンケート ・保育のみえる化（ドキュメンテーション、インスタの配信など）	・保育参加やおまつりごっこなどのイベントを通して、日々の保育を見ていただく機会を多くした。 ・保育ドキュメンテーションを実施し掲示することで、保護者の方に喜んでいただけた。また、保育内容を発信しようとする職員に意識が高まり、職員同士でもよい刺激になっていた。	・今後も保護者の参加イベントや保育参加を継続し、さらに理解を深めていく。保護者の思いも受け止めながら行事等の見直しを職員参画のもと行い、業務の省力化を図る分さらに保育の質を高めていきたい。 ・ドキュメンテーションを進める中、保育のアピールポイントなどを意識することで、専門性が身についたと感じるので、引き続き切磋琢磨しながら刺激し合っていきた。
地域との共生	・地域に開かれた施設づくり ・多様な主体の連携・協力 ・地域との共同	・子育て事業の強化： 育児相談、園庭開放、 子育て広場、育児講座 ・体験型保育わくわくルーム ・地域の方を招いての交流会 ・地域公園清掃、芝生広場芝刈り	・子育て広場（年96回） ・園庭開放（週1回） ・わくわくルーム（年22回） ・交通安全教室（9月） ・東灘警察指導の下、不審者訓練（1月） ・地域（新堀公園）清掃（週1回） 芝生広場の清掃（年1回） ・地域の方を招いての交流会（年2回）	・園庭開放や子育て広場を積極的に行った。また地域向けの給食体験会を実施し、好評だったの今後も続けていきたい。 ・ハロウィンやクリスマス会、お茶会等で地域の方と触れ合うことで、子どもたちの顔も覚えていただき、より関係性が深まっていくことを感じた。	・地域向けのポスターに写真をつけることで一気に申込者が増えた。これからも、利用者にとって分かりやすく魅力的な活動を発信することで、地域の子育て支援、新規の入園へと繋げていきたい。 ・地域の清掃や活動に参加することで、地域の方との繋がりがさらに増えている。今後も積極的に参加したい。
人材育成	・人材育成 ・人材確保 （新任採用・離職防止）	・業務確認・成長シートの活用 ・人材育成の為のメンタルケアの実施 ・世代別ミーティング ・働きやすい職場づくり （業務省力・有給65%取得）	・行動計画や就業規則の周知 ・休憩時間、事務時間の確保 ・有給休暇78%以上取得	・園長による職員の面談を４月より丁寧に行い、安心して働ける環境を整えていく。 ・事務時間を計画的に設定し、平等に確保できるように努めた。行事担当業務や日々の書類等の作業が滞ることが解消できた。	・面談を丁寧に行なうことで相談するの機会が増え、相談しやすい環境が整った。今後続けていきたい。 ・正規職員が少なかったので、調整が複雑なため、主幹が中心となり休憩や事務時間を回してきたが、今後は現場中心となり、全体の見通しを持ち協力体制を図って行きたい。

幼保連携型認定こども園
同 朋 わ く わ く 園